

## 本県自治体の女性管理職登用、低迷

—登用率 5.8%、全国で 46 位

平成 26 年 4 月 27 日付の宮崎日日新聞で、県内市町村における管理職（課長級以上）への女性登用率が平成 25 年度において 5.8%で、前年度に引き続き全国 46 位にとどまったことが報じられています。県によると、平成 25 年 4 月 1 日現在の県内市町村の管理職は 915 人で、そのうち女性は 53 人。前年度の登用率 5.3%からはわずかに上がったものの、依然低い水準となっているようです。また、県内 26 市町村のうち、11 の自治体においては女性管理職がゼロという状況が続いています。

こうした背景には、「男女共同参画の担当者が広報等を兼務しており、女性登用まで手が回らない」という実情があるようです。県内でも、男女共同参画を推進する条例や目標を定めた計画を策定していない自治体は 10 町村。特に規模の小さい自治体では担当者が複数の業務を兼務するなど、組織的な取り組みが進んでいない状況が伺えます。

一方、宮崎市は平成 33 年度を目標年度とした「女性職員の活躍推進プラン」を策定し、基本指標として掲げた女性の管理職登用率を 3.4%（平成 23 年現在）から 15%に上昇させることを目指しています。本学も、平成 25 年 4 月に策定した「宮崎大学男女共同参画基本計画」で、平成 28 年度までに事務系管理職者の女性比率を 10%にするという目標値を掲げましたが、すでにこの 4 月で目標値をクリア。今後更なる比率向上に期待したいものです。

## 農学部「男女共同参画支援室」が設置されました！

このほど、農学部において「農学部男女共同参画支援室」が設置されました。本学において、部局単位による男女共同参画推進のための室が設置されるのは初めて。去る 5 月 15 日に第 1 回目となる「男女共同参画支援室会議」が開催され、オブザーバーを含む 9 名が参加しました。

会議の冒頭には、村上学部長から「全学の男女共同参画推進室と連携しながら、女子学生の支援などを中心に、いろんなアイデアを出して実現してほしい」とのあいさつがありました。その後、室長に就任した佐伯雄一教授の進行により活発な意見が交わされ、早速「女子学生用の更衣室設置」「アンケート調査実施による現状把握」などのアイデアが出されました。

支援室は、今後月 1 回程度の支援室会議の開催を通じて、学部内におけるさまざまな課題を整理し、より学びやすい環境づくりに取り組むこととしています。



## 宮崎大学きつずサマースクール、参加申込スタート★

今年で 3 回目となる「宮崎大学きつずサマースクール」の参加申込がスタートしています！指導員と本学学生サポーターが子どもたちの学習・遊びを支援するとともに、本学ならではのプログラムも提供する予定です。

実施期間は 8 月 11 ～ 29 日（土・日、夏季一斉休業を除く）で、12 日間の開催となります。時間は 8 ～ 18 時、定員は各開催日につき 20 名です。参加希望の**申込期限は 7 月 3 日（月）**ですので、関心のある方はお早めに推進室までお問い合わせください（先着順ではありません）。

なお、プログラム等の内容については、現在調整中です。準備が出来次第お知らせしますので、今しばらくお待ちください！



# 育児や介護に関する専門相談員の顔ぶれが新しくなりました！

清花アテナ男女共同参画推進室では、「かいごcafé」と「社会保険労務士による相談会」を毎月各1回開催していますが、今年4月から、新しい相談員の方においでいただいています。今回は、そのお二人にお話を伺いました！

## 社会福祉士 組坂 まつ子さん



平成26年4月から、当室の介護に関する相談会「介護café」でご対応いただいています。

■趣味、大切にされていることは何ですか？

介護予防を意識して早朝のスロージョギング、ドライブがてらその土地の食べ歩きを家族で楽しんでいます。また、自然と触れ合う自分の時間も大切にしています。

■福祉や介護の現場でお仕事される喜びは何ですか？

相談者の望む生活が実現し喜びを共感できた時は、この仕事を続けてきてよかったと思えます。相談者の人生に寄り添える仕事であることが誇りであり、励みにしています。

■仕事と介護の両立をする上で、アドバイスがあればお聞かせください。

介護は予期せず突然発生することが多いため「事前準備」が必要です。介護保険制度・介護サービスの概要を把握しておくといいでしょう。

また、家族で役割分担をし、一人で抱え込まないように何でもケアマネジャーに相談することが重要です。介護を深刻にとらえ過ぎないように、「自分自身のリフレッシュタイム」を持つことでよりよい介護ができます。

## 社会保険労務士 山口 ひろみさん



平成26年4月から、当室の社会保険労務士相談会でご対応いただいています。

■趣味、大切にされていることは何ですか？

数年前から観劇が夫婦共通の趣味となり、旅行を兼ねて年に数回県外に出掛けています。ずっと休んでいたジム通いも、健康のためにそろそろ復活させたいと思っています。

■社会保険労務士としてお仕事される上でのモットーやポリシーを教えてください。

社会保険労務士の仕事は、主に顧問先企業の労務管理に関する業務を行いますが、1つの事案に対する解決策は複数あることも多く、各場面でより良いご提案ができるよう、日々研鑽に努め、丁寧な対応を心がけています。

■本学の教職員へ向けて、メッセージをお願いします。

育児や介護のために時間的に制約がある方でも、仕事の進め方の見直しや、情報共有化などの職場の体制づくり等によって限られた時間で効率的に業務をこなすことが可能になります。今はまだ育児や介護の問題に直面していない方も含め、職場のすべての人が働きやすくなることにつながりますので、小さなことから取り組んでみてください。

7月は、3日（木）に木花キャンパスにおいて組坂さんが、24日（木）に清武キャンパスにおいて山口さんが相談に対応してまいります。子育てや介護に関する疑問・不安をお持ちの方は、ぜひお気軽にご利用ください。なお、相談を希望する場合は事前のご予約をおすすめします。

◇あてなのらくかき◇このコーナーでは推進室で起こった出来事や話題を少しだけ紹介します

### 熱い感動をありがとう！

先日開催された高校総体には約9600人の県内高校生が参加しました。会場のひとつとなった宮崎県総合運動公園では、様々な競技場から歓声が…同時に競技者と指導者と応援者の熱い思いも伝わってきます。ふと自分の事が思い出され、高校3年生最後の総体で、終わりを告げるホイッスルの音が今でも忘れられないです。“青春”っていいですね。我が子の勇姿も見みられて大変感動した高校総体でした(・・) //

## 宮大ハッピースローガン

隣の人の気持ち、考えてみませんか？「ありがとう」の気持ち、言葉にしてみませんか？

忙しい毎日でも、ほんの少しだけ相手を思いやる気持ちを持つだけで、ぐんと快適になります